

令和2年度 学校評価報告書(目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①自己肯定感を高める学習活動と教科横断的な視点に立った資質・能力の育成を実現するための教育課程編成に取り組む。</p> <p>②「わかった・できた・つながった」を生徒が実感できる評価・授業の在り方の再整備を進める。</p>	<p>①生徒の自己肯定感を高める授業について、対話的・主体的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの授業改善を行う。</p> <p>②教科等横断的な視点に立った資質・能力の中で、どのような資質・能力を育成するかを組織として検討し共有する。</p> <p>③「わかった・できた・つながった」を実感できる授業が評価に結びつくような評価方法について検討する。</p>	<p>①対話的な学び、主体的な学び、深い学びの各視点のいずれかを設定し、その視点を取り入れた授業について研修会等を通して研究・実践する。</p> <p>②教科でどのような資質・能力を育成するのかを検討し、教科目標を設定する。その目標に合わせて学校設定科目の位置づけを明確にする。</p> <p>③授業の活動の評価方法を科目ごとに設定し、教科全体で共有する。</p>	<p>①主体的・対話的で深い学びについて教員の理解が深まったか。</p> <p>②設定された教科目標に沿って、学校設定科目の意義を共有できたか。</p> <p>③評価について教科で意思統一できたか。</p>					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①生徒の規範意識を定着させ、社会の一員としての自覚と自己有用感を涵養する。</p> <p>②「かかわる・寄り添う・見守る」教育支援体制により、生徒自己の課題に気づき、その解決に向けて行動（相談）する力を育む。</p> <p>③学校行事や部活動等を通して、生徒の社会性を育み、豊かな人間関係を構築する力を育む。</p>	<p>①規則やルールを守ることの重要性を伝え、社会の一員である自覚を持たせる。</p> <p>②生徒が自己の課題に気づき、その解決のため行動できるよう支援する。</p> <p>③学校行事において、生徒が主体的に動ける環境を整え活性化を図る。</p> <p>④部活動加入者の継続と新入部員の獲得に向け、活動の場を広げられるよう広報活動を推進する。</p>	<p>①問題行動を未然に防ぐために、巡回指導や講演会を実施する。</p> <p>②生徒の課題を的確に把握するためのアンケートの実施や改善に向けての研修会を実施する。</p> <p>③教職員が生徒と丁寧にかかわることで意欲を引き出し、主体的な役割を広げる。</p> <p>④部活動の環境を整えながら、入部率が増加するようアナウンスの場を増やす。</p>	<p>①問題行動を前年より20%減少させることができたか。</p> <p>②地域相談機関との連携がしっかりとれたか。</p> <p>③生徒会執行部やフロンティアチームが計画的に学校行事に携わることができたか。</p> <p>④部員の定着が図れたか。入部率が30%程度になったか。</p>					

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	社会生活実践力を育成し、主体的に進路設計ができる力を身につけさせる。	生徒が主体的に将来を考え、個々の能力、関心、適性に合った進路実現を支援する取り組みを進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部の機関等も活用することで、他者理解を深め、自己の勤労観、職業観を具体的に想像できるよう取り組みを行う。</li> <li>生徒一人ひとりの進路希望の実現のため、総合的な探究の時間等の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会や講演会などを適切な時期にふさわしい内容で実施できたか。</li> <li>非正規雇用希望者はいないか。また、進路実績は就職、進学ともに希望者の90%を達成できたか。</li> </ul>					
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や外部の諸機関等との連携を図り、地域とともに学びあう教育活動・学校運営を行う。</li> <li>教科指導等における連携・協働を積極的に推進し、生徒の成長の見守りと学校に対する理解と信頼を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで築いてきた地域との連携を整備・精査し、生徒も積極的に関わられるような取り組みを深める。</li> <li>教科活動や特別活動に地域や外部の諸団体の方にも加わっていただき共に生徒の成長を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の保育園・小中学校との授業連携、地域の催事等への参加、ボランティア活動、学校説明会等の参加などを拡充し、地域の本校への理解を進め、生徒の自己肯定感を育む。</li> <li>教科活動や特別活動への講師導入やめいさぼ先生など、地域の人材との交流により、生徒の成長を促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校説明会や地域の行事等への参加生徒数が増加し、生徒の成長を促すことができたか。</li> <li>外部へのボランティア活動の生徒数が5%程度増加し、満足感を得たか。</li> </ul>					
5	学校管理 学校運営	<ol style="list-style-type: none"> <li>生徒の安全と教育環境を確保し、耐震工事への対応と新校舎の効果的な使用方法を策定する。</li> <li>地域と協働した防災体制づくりと防災教育を推進する。</li> <li>事故不祥事防止を推進し、学校に対する信頼を深める。</li> <li>教員のワークライフバランスを推進するとともに生徒と向き合う時間を確保するため組織的な学校運営と校務の効率化を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>施設設備の有効活用を検証し、快適で安全な学習環境を整備する。</li> <li>地域の防災拠点と連携した訓練を実施し、意識の向上を図る。</li> <li>事故不祥事防止に向けて予見的啓発に取り組む。</li> <li>WEBを利用した打ち合わせや少人数の会議を時間割に組み込むなど、効率的な会議運営を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>生徒にとって有効な活用方法を検討し効果的な設備備品の配置を行う。</li> <li>緊急時の避難計画など地域と協働した学校防災計画を策定する。</li> <li>対生徒・対職員のSNS活用に関する事故防止研修を実施する。</li> <li>掲示板やチャットなど、可能なアプリケーションを活用する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>改修校舎が生徒にとって使いやすくなったか。備品を効果的に配置できたか。</li> <li>地域との連携内容を防災マニュアルに反映し、避難訓練等を計画的に実施したか。</li> <li>事故不祥事防止研修は十分な回数を実施でき、不祥事はなかったか。</li> <li>放課後の会議の時間は減ったか。</li> </ol>					